

温室効果ガス排出量削減に向けた取り組み

2025年6月30日

株式会社シンエイライフはこのたび、2030年に向けた当社の温室効果ガス排出量削減目標が、パリ協定に整合した科学的に根拠ある水準であると認められ、SBT イニシアチブ（※）から認証（中小企業版）を取得しましたのでお知らせいたします。



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

※SBT (Science Based Targets) イニシアチブは、CDP (気候変動に関する情報開示を推進する非営利団体)、国連グローバル・コンパクト、WRI (世界資源研究所)、WWF (世界自然保護基金) が 2015 年に共同で設立した国際的な枠組みです。

このイニシアチブは、パリ協定の「産業革命前からの気温上昇を 2°C未満、できれば 1.5°Cに抑える」という目標に整合するよう、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標が科学的に妥当であるかどうかを検証・認定しています。

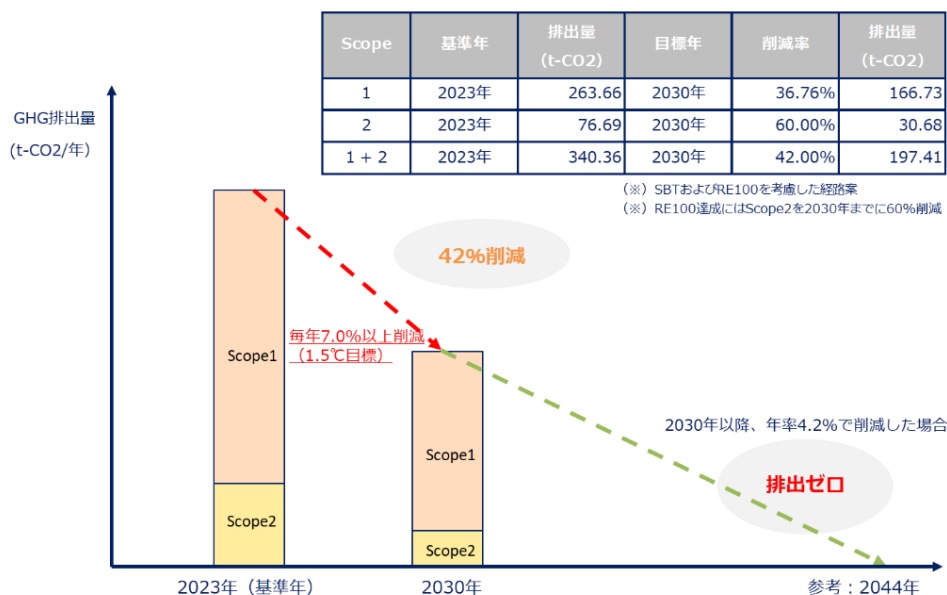
■温室効果ガス排出量削減目標

Scope1 および Scope2 (※)	2030 年度までに 2023 年度比で 42.0%削減
-----------------------	------------------------------

※Scope1：事業者が所有又は管理する排出源から発生する温室効果ガスの直接排出

Scope2：電気、蒸気、熱の使用に伴う温室効果ガスの間接排出

■現状の温室効果ガス排出量および削減目標イメージ



(※) SBTおよびRE100を考慮した経路案
(※) RE100達成にはScope2を2030年までに60%削減

当社は、これまで温室効果ガス排出量削減へ向けて今後、●太陽光発電設備の設置●高効率設備の導入、●電気自動車への切り替え等を実施することにより、温室効果ガス排出量削減目標の達成およびカーボンニュートラルの実現へ向けて尽力してまいります。

株式会社シンエイライフ 代表取締役 田中 孝昌